

「大切な人を亡くされた方の悲しみに
どう向き合い、寄り添うか
『喪失』から『希望』へつなぐ」

自死遺族支援事業 ひだまりの会グリーフケア講演会

開催日

令和7年

2月23日(日)

14:00～講演会(受付13:30～)

会場

高知城ホール(高知市丸ノ内2丁目1-10)

第1部 講演会：中会議室

第2部 遺族交流会：小会議室

講師

米虫 圭子氏

京都産業大学 学生相談室主任カウンセラー
(グリーフ・カウンセラー / 臨床心理士)

プログラム

【第1部】14:00～ 講演会

「大切な人を亡くされた方の悲しみにどう向き合い、
寄り添うか～『喪失』から『希望』へつなぐ～」

(定員：60名)

【第2部】15:45～ 交流会 ※交流会の参加は自死遺族に限ります。

(定員：15名)

対象

県民の方どなたでも

大切な方を亡くされたご遺族やグリーフケアに関心のある支援者の方なども是非ご参加ください。

* 参加費無料 *

「ひだまりの会」(自死遺族の分かち合いの会)とは…

現在日本では、年間2万人以上、高知県でも年間100人を超える方が自死されており、深い悲しみを抱える自死遺族が多くいらっしゃいます。

また大切な人が亡くなるという喪失体験は、周囲の人に深刻な心理的影響を及ぼすとされています。

たとえ自殺が減少しても自死遺族の数は毎年減ることはなく増えており、数の増減では図り知れない一人一人の思いや関係性がそこにはあります。

本講演会では、誰もが直面する可能性があるグリーフ(喪失体験に伴う悲嘆)について、地域や社会のなかで考える機会になればと思います。

また「ひだまりの会」は、自死遺族の方が安心して気持ちを分かち合える場所として、「3つのT」を大切にしながら定例会(毎月第4木曜)も開催しています。

Tear 安心して泣ける場所

Time 大切な人が生きていた証やつながりを感じ、故人を偲ぶ場所

Talk 自分の気持ちや感情を安心して話せる場所

本講演会および定例会の詳細については、下記へお問い合わせください。

【お問合せ先】 主催：高知県立精神保健福祉センター

電話：088-821-4966

FAX：088-822-6058

住所：高知市丸ノ内2丁目4-1 保健衛生総合庁舎1階

お申込み方法は裏面をご覧ください

こめ むし けい こ

米虫 圭子氏



【講師略歴】

1972年 京都産業大学外国語学部英米語学科卒業。

アメリカの大学院にて心理学を学び、ホスピスにてグリーフカウンセラー・インターンとして遺族ケアに携わる。

2001年に帰国後、ホスピスのサポートグループや遺族会のボランティアカウンセラーとして参加するなど、グリーフケアの実践と普及活動にも尽力されている。

また、行政機関相談員やスクールカウンセラーなどを経て、2006年より現職の京都産業大学学生相談室主任カウンセラー。

若年層の「生きづらさ」や死別の悲嘆などに寄り添った支援や活動に尽力されている先生です。

講師 米虫 圭子氏

京都産業大学 学生相談室主任カウンセラー (グリーフ・カウンセラー / 臨床心理士)

令和6年度 ひだまりの会 講演会 参加申込書

2月14日(金)までに 電話・FAXにてお申し込みください。

※当日参加も可能です。

高知県立精神保健福祉センター行き

送信先

FAX : (088) 822 - 6058

<p>参加する方に <input checked="" type="checkbox"/> をしてください。 (両方参加も可)</p>	<p><input type="checkbox"/> 講演会 (定員 60名) <input type="checkbox"/> 交流会 (定員 15名)</p> <p>※交流会の参加は自死遺族に限ります。</p>
<p>名 前</p> <p>※必ずご記入ください。</p>	
<p>連絡先</p> <p>※必ずご記入ください。</p>	<p>電話番号：</p> <p>メールアドレス：</p>
<p>所 属</p> <p>当てはまる方に <input checked="" type="checkbox"/> をしてください。</p>	<p><input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 関係機関</p> <p>所属： _____</p> <p>職種： _____</p>
<p>(備考欄)</p>	<p>※要約筆記が必要な方はこちらにご記入ください。</p>

※ご記入いただきました個人情報は、講演会に関する必要な連絡のみに使用し、開催後は破棄します。